

取扱説明書

音声・音響警報ユニット iMAX-A2 (8CH 接点/255CH バイナリ制御タイプ)

UM_iMAXA2-C061201

このたびは、音声・音響警報ユニット iMAX-A2 をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本機の優れた機能をご理解頂き、末永くご愛用頂くためにも、この取扱説明書をよくお読み下さい。

目次		
■	困った時に (トラブルシューティング)	2
1	概要	3
2	特長	3
3	主な用途	3
4	標準仕様	3
5	外観図並びに外形寸法図	4
6	付属品・オプション	5
7	設置・固定方法	5
8	各部の名称と機能	6
9	スクリューレス端子台	6
10	使用電源	7
11	音声・音響出力	7
12	スピーカー出力と音量調整	7
13	ライン出力とレベル調整	8
14	入出力信号	8
15	接続・調整	9
16	モードスイッチの設定 (再生モード・タイマー・その他)	9
17	制御方法—接点制御	12
	●通常再生モード (インターバルタイマー有効) ●優先順位再生モード	
	●順次記憶再生モード ●記憶エンドレスモード (複数再生)	
	●記憶エンドレスモード (優先順位再生) ●後入力切替再生モード	
18	制御方法—バイナリ制御	13
19	音源データの登録時間とCF カード	14
20	適用カードデータと WAVE ファイル形式	13
21	音源データの録音/登録・プログラム登録・カードデータ作成	15
22	音源データの接点端子・アドレス登録について	15
■	接続参考図 ●接点制御 ●バイナリ制御 ●PLC との接続	16

ご注意 	●水、湿気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないで下さい。火災、故障、感電の原因になります。 ●定格範囲外で使用されますと、故障が起きたり、十分な機能が発揮できないことがあります。 ●接続、カードの挿入・交換、各種設定・変更の際は、感電事故を避けるため、必ず、電源を切ってから行って下さい。
--	---

VoiceNavi 三共電子株式会社
〒381-3203 長野県上水内郡中条村中条 38
<http://www.voicenavi.co.jp>

困った時に (トラブルシューティング)

電話で多い 問合せ	まったく、再生しない	カードフォーマットが FAT(FAT16)ではない。 FAT32/NTFS は認識できないのでFAT(FAT16)でフォーマットしてからご使用下さい カードデータファイル「***.imx」「***.wpj」がコピーされていない。
	再生しない WAVE ファイルがある	その WAVE ファイルがコピーされていない。 拡張子が.wavですが実際は形式が違うファイルや、ある録音ソフトで録音した WAVE ファイルは WAV シリーズで再生できないものがあります。 WindowsOS アクセサリのサウンドレコーダー等で開き、別のファイル名で保存し、VoiceNaviEditor で登録して下さい。

困った状態	LED表示	原因	対処方法
再生しない接点・アドレスがある		接続ミス	接続参考図を参照の上、接続を点検します。
	PLAY LED 点滅 *1	その接点端子・アドレスに対応した WAVE ファイルがない (***.wav)	カードにコピーした際、漏れが生じたので、その WAVE ファイルをコピーします。
まったく再生しない	PLAY LED 点滅 *2	カードフォーマットが異なる	カードフォーマットが FAT(FAT16)ではない。 FAT32/NTFS は認識できないのでFAT でフォーマットしてからご使用下さい
	PLAY LED 点滅 *2	カードデータファイルがない (***.imx/wpj)	iMAX Editor でカードファイルを読み込み、データ内容を確認します。
	PLAY LED 点滅 *1	WAVE ファイルがカード内にない (***.wav)	iMAX Editor でカードファイルを読み込み、データ内容を確認します。
		強力なノイズ等で CPU 暴走	CPU 暴走時、ウォッチドックタイマーで自己復旧します。ノイズが常時ですとリセットを繰り返し、再生しない状態になります。 電源・信号・スピーカーライン近辺のモーター・ソレノイド等のノイズ源をノイズ対策します。
		音量ボリューム「小」	
		接続ミス	接続を点検し 特に COM 端子部)、再接続
		再生モード設定ミス	再生モードを確認し、再設定
音が小さい		タイマーモード設定ミス	タイマーモードを確認し、再設定
		音量 VR「小」	再調整
再生するが、時々、リセット状態になる		音量 VR を可変しても音量が小さい	ライン出力にスピーカーを接続している。 再接続します。
		強力なノイズ等で CPU 暴走	CPU 暴走時、ウォッチドックタイマーで自己復旧します。ノイズがない時は正常に動作します。 電源・信号・スピーカーライン近辺のモーター・ソレノイド等のノイズ源をノイズ対策します。
入力接点と再生する内容が合っていない。		設定ミス	iMAX Editor でカードファイルを読み込み、データ内容を確認します。
組立再生しない、順序が違う		接続ミス	コネクタの接続を点検し、再接続
リピート回数再生しない、回数が違う		設定ミス	iMAX Editor でカードファイルを読み込み、データ内容を確認します。

(注) *1 再生の起動時にPLAYのLEDが点滅します。STOP入力にて消灯します。

*2 PLAYのLEDが点滅した状態で、再生起動を行うとALARMのLEDが点灯します。

1.概要

iMAX-A2 は、警報専用モードを搭載、5W アンプ、8CH 接点/255CH バイナリ制御モード、音源に「WAVE ファイル」、記憶媒体にCF カードを採用した音声・音響警報ユニットです。

音源データの登録や追加変更は専用エディタソフトiMAX Editor 上で手軽にできます。

音源に「WAVE ファイル」、記憶媒体にCF カードを採用していますのでパソコン上で音源データのコピー・バックアップなどのデータ管理も簡単です。

2.特長

- エディタソフトiMAX Editor 無償WEB配布]
- 登録時間 44 分 max.(256MB 44.1KHz 16Bit 時)
- 警報専用モード搭載 接点制御時)
 - 通常/優先順位/順次記憶/後入力切替
 - 記憶エンドレス 複数交互)
 - 記憶エンドレス 優先順位)
- WAVE ファイル 44.1/22.05KHz 16/8Bit Mono
- 8CH-接点制御
- CF カード採用 32/64/128/256MB
- 255CH-バイナリ制御
- スクリーンレス端子台仕様
- スピーカー出力 5Wmax.8Ω 端子台
- 200W×190D×40Hmm
- ライン出力 600Ω 不平衡 ミニジャック
- AC100V 電源対応 DC+24V 電源可) AC コード

3.主な用途

- 各種設備機器の音声警報・音響警報
- 各種製造・検査ラインの音声警報・音響警報
- 音声・音響警告 (立入禁止警告他)
- センサー利用音声案内・注意
 - ・立入禁止警告 ・来客案内
 - (注)通常再生モード・インターバル30 秒推奨

4.標準仕様

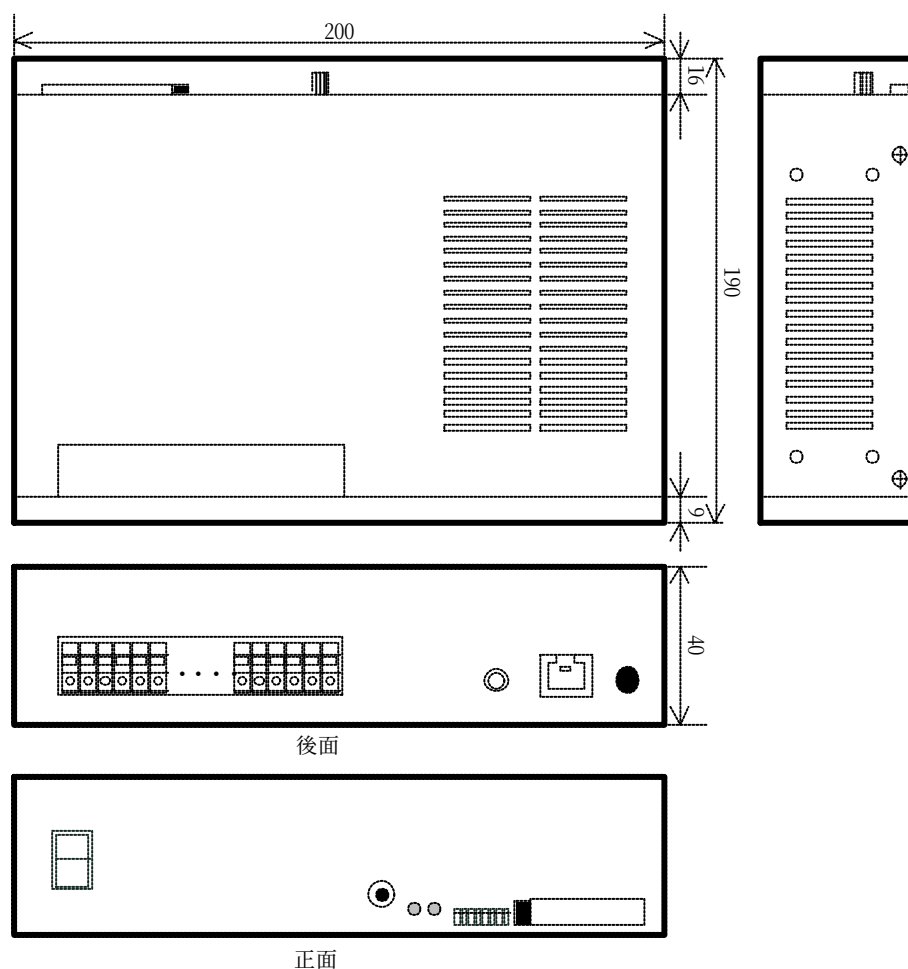
定格使用電圧	AC100V 50/60Hz AC 電源コード または DC+24V±5% (または DC+12±5%) スクリューレス端子台
消費電流	AC100V 時 待機時 約 6W 最大時 約 22W DC+24V 時 待機時 約 75mA 最大時 約 460mA DC+12V 時 待機時 約 70mA 最大時 約 220mA
寸法・重量	200W X 190 D X 40H mm 突起部含まず 約 1Kg 固定金具 A 使用時] 220W X 190 D X 40H mm 固定金具 B 使用時] 200W X 210 D X 46H mm 固定金具 C 使用時] 200W X 190 D X 50H mm
ケース塗装・仕上げ	ブラック
使用環境	−5℃～55℃ 35%～80%RH (但し結露なき事) (保存時) −10℃～70℃
再生方式	WAVE ファイル (注)16Bit データはソフト処理で再生 44.1/22.05/11.025KHz 16/8Bit mono 2/16/12.8/8KHz 16/8Bit モノラル
再生帯域	300Hz～10 KHz
制御方式とチャンネル数	■接点制御 8CH (フォトカプラ入出力) 再生モード] 通常/優先順位/順次記憶 記憶エンドレス 複数交互)記憶エンドレス 優先順位) [インターバルタイマー] 0/30/60/120 秒 (通常再生モード時) IN /SW 1～8, /STOP 無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ OUT /BUSY /ALM オープンコレクタ出力 DC+35V,500mA) ■バイナリ制御 255CHmax. (フォトカプラ入出力) 再生モード] 正論理/負論理 IN /D0～7, /STOP, /STB 無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ OUT /BUSY /ALM オープンコレクタ出力 DC+35V,500mA)
適用メモリカード	CF カード 32/64/128/256MB 1 枚 max. (注)メーカー 型式指定 バッファロー RCF-X**MY または相当品
登録時間	カード容量とWAVE ファイルのサンプリング周波数による

VoiceNavi

	44 分 max. 256MB 44.1kHz 16Bit Mono 時)		
	カード容量	通常	
		44.1kHz 16Bit	22.05kHz 16Bit
	32MB	5.6 分	11.2 分
	64MB	11.2 分	22.4 分
	128MB	22.4 分	44.8 分
	256MB	44.8 分	89.6 分
再生時間	登録音源時間 (WAVE ファイル)合計時間 またはエディタソフトiMAX Editor 上でプログラム登録した場合、その内容による		
音声・音響出力	スピーカ出力	5Wmax. 8Ω	
	LINE出力	600Ω 不平衡 6.5dBm～1.5dBm (出荷時 0dBm 固定)	
音量調整	スピーカ出力	シャフト付可変 VR 3 段階音量切替・保持 (バイナリー制御時) 中(大×1/2・約-6dB) (大×1/5・約-14dB) 欠・半固定 VR と同一)	
	LINE出力	本体内蔵ボード上の半固定 VR	
適用サポートソフト	エディタソフトiMAX Editor 無償 WEB 配布] プログラム登録- 組立再生) 1 アドレス 4wave ファイル (リピート回数) 1 アドレス 5 回 max		
付属品	CF カード 128MB 1枚 (サンプルデータ入り) 取扱説明書 1 部 保証書 1 部		

5. 外観図並びに外形寸法図

据置/固定金具/DIN 固定金具で固定



6. 付属品・オプション

【付属品】

CF カード	CF カード 128MB 1枚 (サンプルデータ入り)
--------	-----------------------------

【オプション】

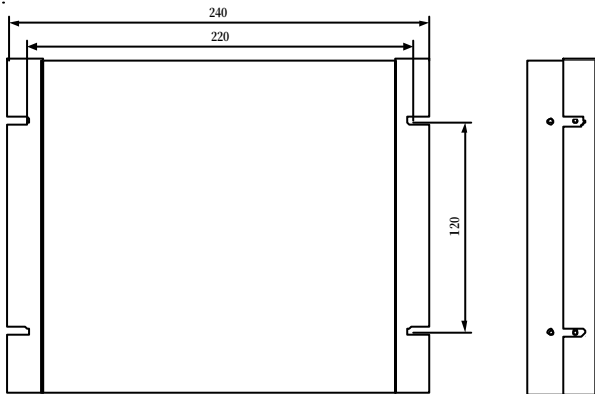
スピーカー	トランペットスピーカー MS-10W 5W 8Ω (カイニー製) トランペットスピーカー CH-003 5W 8Ω (カイニー製) スピーカーユニット MS-90 10W 8Ω (カイニー製) 注) スピーカー線は切断加工して接続して下さい。
固定金具	固定金具 A 水平固定 iMAX-kanagu01(三共電子製) 固定金具 B 垂直固定 iMAX-kanagu02 (三共電子製) 固定金具 C DIN レール固定 CKD-120 (タカチ工業製)
その他	テキスト入力音声データ作成ソフト VoiceNavi Announcer 2J エディタソフトiMAX Editor 無償 WEB 配布

7. 設置・固定方法

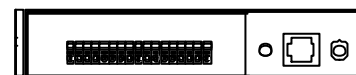
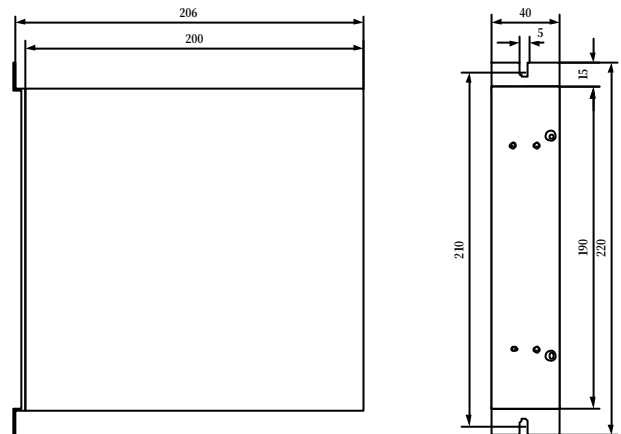
振動が多い場所では、防振ゴム等の耐震対策を行って下さい。

1	据置	非固定
2	ネジ止め (水平/垂直)	底面・側面のネジ穴利用
3	据置-固定金具 A 水平固定 (ネジ止め)	オプション iMAX-KANAGU01
4	据置-固定金具 B 垂直固定 (ネジ止め)	オプション iMAX-KANAGU02
5	据置-固定金具 C DIN レール固定	オプション DRA-1 (タカチ工業製)

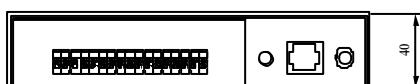
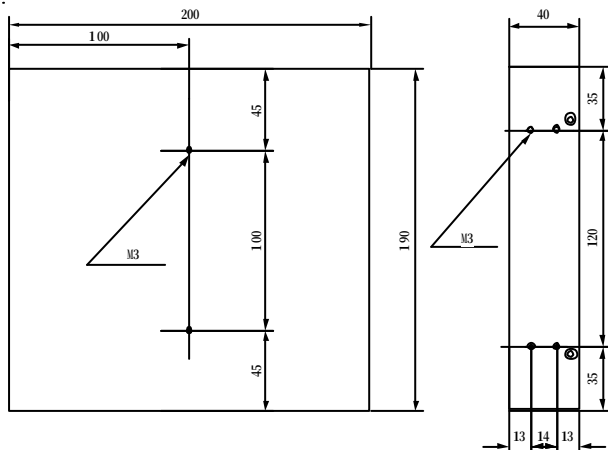
■据置-固定金具 A 水平固定 (ネジ止め)



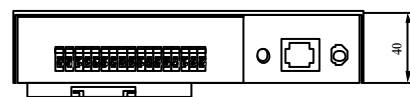
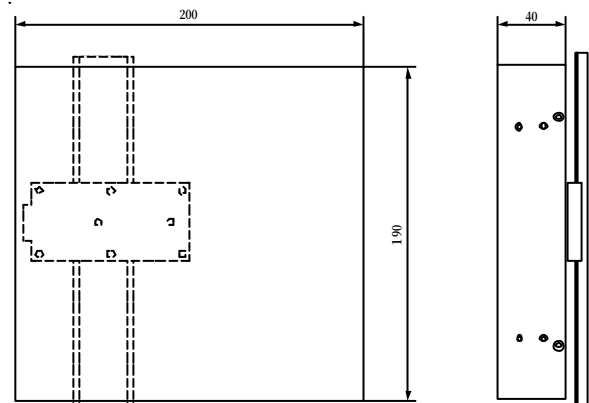
■据置-固定金具 B 垂直固定 (ネジ止め)



■ネジ止め 金具無し (水平/垂直)

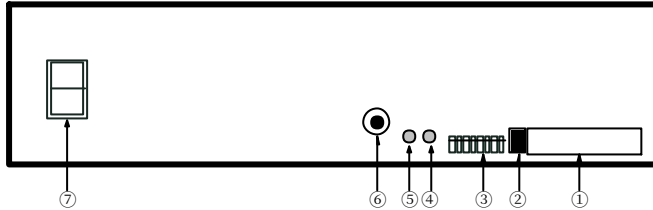


■据置-固定金具 C DIN レール固定



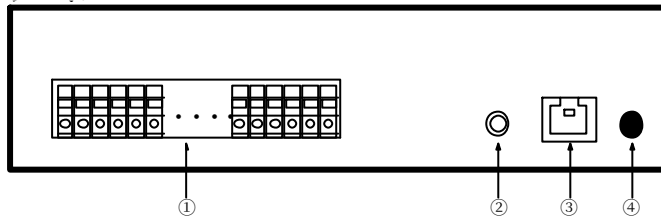
8. 各部の名称と機能

■フロントパネル



No	名 称	内 容
1	コネクタ (CF カード用)	CF カード実装用コネクタ
2	カードエジェクトボタン	CF カード取り出し用ボタン
3	MODE SW	再生モード, タイマー値等設定用
4	PLAY LED (緑色)	再生中点灯 並びに各種状態時に点滅
5	POWER LED (緑色)	電源オン時点灯
6	ALM LED (赤色)	CPU 異常時点灯 (電源オフにて消灯)
7	VR1	スピーカ出力用ボリューム

■リアパネル



No	名 称	内 容
1	スクリューレス端子台	電源・SP・入出力制御用
2	ライン出力ジャック	ライン出力ミニジャック
3	ヒューズホルダー	ヒューズ 0.5A
4	AC 電源コード	AC100V 電源と接続します。

9. スクリューレス端子台 注) LINE OUT はミニジャックをご使用下さい。

サトーパーツ :ML-800S1H17P

No.	表示	I/O	説明	
			接点制御	バイナリ制御
1	DC IN -		DC+24(12)電源入力 -	
2	DC IN +		DC+24(12)電源入力 +	
3	SP OUT -		スピーカ出力 -	
4	SP OUT +		スピーカ出力 +	
5	COM		信号用 GND	
6	8	I	/SW8	/D7
7	7	I	/SW7	/D6
8	6	I	/SW6	/D5
9	5	I	/SW5	/D4
10	4	I	/SW4	/D3
11	3	I	/SW3	/D2
12	2	I	/SW2	/D1
13	1	I	/SW1	/D0
14	STOP	I	/STOP	
15	STB	I	/OP	/STB
16	BUSY	O	BUSY 出力	
17	ALM	O	アラーム出力	

17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

10. 使用電源

AC100V 電源または DC+24V 電源 (または DC+12V 電源) と接続します。

どちらか片方しかご使用できません。また DC 電源の場合、電源スイッチ ON/OFF は使用できません。

DC 電源を使用数場合、安定化・低ノイズの DC 電源をご使用下さい。

電源ラインにもモーター・ソレノイド等のノイズがのる場合があります。

この場合、スピーカーが異常音を出力したり、ユニット本体内 CPU が暴走する場合があります。その場合、自己復旧を行う初期状態になります。

安定化・低ノイズの DC+12V または DC+24V 電源をご使用下さい。

使用電源	接続	電圧範囲	消費電流・電力		備考
			待機時	動作時	
AC100V	AC 電源コード	商用 AV100V			
DC 電源	スクリューレス端子台	DC+24V±5%	約 75mA	約 460mA	
DC 電源	スクリューレス端子台	DC+12V±5%	約 70mA	約 220mA	

11. 音声・音響出力

出力名	定格	端子台・コネクタ	音量・レベル調整
SP OUT	5Wmax. 8Ω	スクリューレス端子台	シャフト式可変VR [バイナリ制御モード] コマンドによる3段階音量切替機能
LINE OUT	600Ω 不平衡 -6.5dBm~1.5dBm (出荷時 0dBm 固定)	ミニプラグ	ユニット内内ボード上の半固定 VR

12. スピーカー出力と音量調整

配線距離 10m 以上または配線周辺にモーター・ソレノイド等ノイズ発生源がある場合、シールド線またはシールドしてご使用下さい。

定格出力	スクリューレス端子台 3 4	5Wmax. 8Ω AC100V 時 (または DC+24V 時) 距離) 約 10~20m シールド線使用
音量調整	接点制御時 バイナリー制御時	シャフト付可変 VR
	バイナリー制御時	コマンドによる3段階音量切替・保持 (メイン音量は半固定 VR による) FBH-中(大×1/2・約-6dB) FCH-(大×1/5・約-14dB) FDH- 欠・半固定 VR と同一) 注) 電源 OFF の場合でも、設定レベルを保持します。

(注) スピーカーラインにもモーター・ソレノイド等のノイズがのる場合があります。

この場合、スピーカーが異常音を出力したり、ユニット本体内 CPU が暴走する場合があります。その場合、自己復旧を行う初期状態になります。

■外部に音量 VR を接続したい場合、または外部から接点で3段階の音量調整したい場合

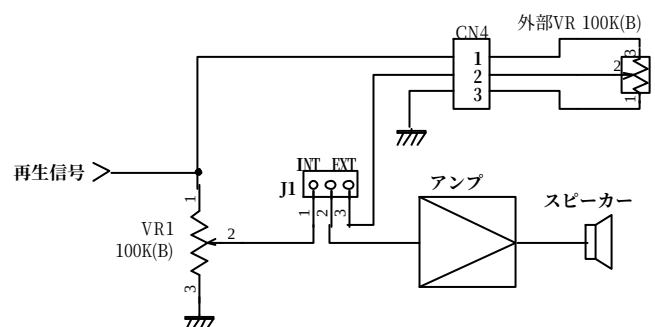
下記を参考にしてください。

なお、配線に際してはケースに穴明け加工 (またはライン出力用ミニプラグを外した) 穴を利用します。

●外部音量ボリュームを接続したい場合

ユニット内ボードジャンパーピン J1 内部 VR と外部 VR の設定)
を外部 VR に設定。

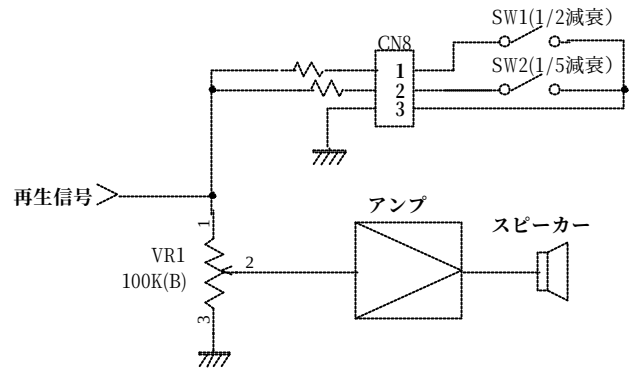
ユニット内ボード CN4 と可変ボリューム 100KΩ(B) をオプション
CK-VER3d で接続します。



●外部接点端子による3段階音量レベル切替をしたい場合

ユニット内ボード CN3 とスイッチ等をオプション
CK-VR3G3 で接続します。
メイン音量はボード上の半固定ボリューム 外部 VR 使用
の場合のその VR)で調整できます。

SW1	SW2	音量
OFF	OFF	大 半固定 VR と同一
ON	OFF	中 欠の 1/2)
ON	ON	小 欠の 1/5)



1 3.ライン出力とレベル調整

必ず、シールド型の市販のラインケーブルを使用して下さい。

市販拡声アンプと接続する場合、市販のミニプラグ-PIN(RCA)モノラルタイプ (ステレオタイプの場合、RLどちらかを使用)で配線します。

定格出力	リアパネル ミニジャック	600Ω 不平衡 ?6.5dBm~1.5dBm (出荷時 0dBm 固定)
音量調整	接点制御時 バイナリー制御時	本体内蔵ボード上の半固定 VR

(注)ライン出力ラインにもモーター・ソレノイド等のノイズがのる場合があります。

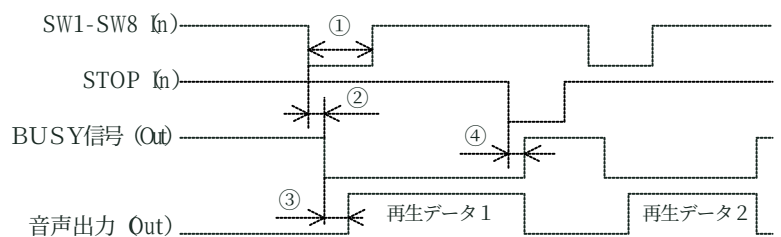
この場合、スピーカーが異常音を出力したり、ユニット本内内CPUが暴走する場合があります。その場合、自己復旧を行う初期状態になります。

1 4.入出力信号

信号名	ホスト側	内容	パルス幅
/SW1-8(/D0-D7)	OUT	無電圧メーク接点またはNPN オープンコレクタ	50ms 以上
/OP(STB)	OUT	無電圧メーク接点またはNPN オープンコレクタ	50ms 以上
/STOP	OUT	無電圧メーク接点またはNPN オープンコレクタ	50ms 以上
/BUSY	IN	オープンコレクタ DC+50V 500mA	

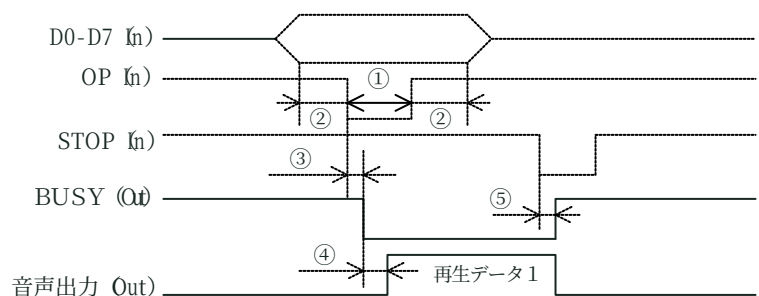
■信号のタイミング 接点制御の場合)

No.	信号名称	時間
①	SW 入力時間	50ms min.
②	BUSY 出力タイミング	50ms max.
③	音声出力タイミング	100ms max.
④	音声終了タイミング	50ms max.



■信号のタイミング (バイナリ制御の場合)

No.	信号名称	時間
①	OP(STB)入力時間	50ms min.
②	データセットアップ時間	50ms min.
③	BUSY 出力タイミング	50ms max.
④	音声出力タイミング	100ms max.
⑤	音声終了タイミング	50ms max.



15. 接続・調整

本書記載の「各部の名称・機能」「接続参考図」を参照し、接続して下さい。

No.	設定項目	内容
1	制御信号線の接続	接点制御時 SW1-8・STOP・COM を接続します 必要に応じて、BUSY・ALM を接続します。
		バイナリ制御時 D0-7・OP・BUSY, COM を接続します。 必要に応じて、STOP・ALM を接続します。
2	SP 出力の接続	必要に応じて、定格5W スピーカーを接続します。 (注)定格 5W 8Ω
3	AC100V 電源との接続 (または DC 電源と接続)	AC 電源コードを AC100V 電源コンセントと接続 DC+24V もしくは DC+12V を接続します)
4	データ入り「CF カード」のセット	カードデータファイル***.imx(wpj)と WAVE ファイル***.wav がコピーされた CF カード (注)カードフォーマット FAT(FAT16) FAT32 は認識しません。
5	各種設定	モードスイッチで、コントロールモードをセットします。
6	電源スイッチ ON	
7	4 秒経過	電源 ON 時から約 4 秒間
8	制御 音量調整	スピーカー出力は音量調整ボリュームを調整 ライン出力は装置内ボード上の半固定ボリュームを調整(-6dBm～2dBm)

注	接続する場合、必ず電源を切して下さい。 DC 電源には+-の極性がありますご注意ください。(DC 電源使用时) 信号入出力、スピーカー出力端子、ライン出力端子には電圧を印加しないで下さい。 電圧変動が激しい電源や、ノイズ・サージを多く含む電源は使用しないで下さい。 信号入出力、SP、LINE の配線はできる限り短くして下さい。高圧ケーブルとの併設は避けて下さい。
---	---

16. モードスイッチの設定 (再生モード・タイマー・その他)

電源を切って設定して下さい。電源ON時、設定内容を識別します。

No.	1	2	3	4	5	6	7	8
OFF ON	1 2 3 4 5 6 7 8	再生モード			インターバル タイマー			

■再生モードの設定

電源ON時有効になります。●・・・ON

1	2	3	4～8	モード名	備考
				1 接点制御－通常再生(複数交互)	ワンショット/レベル
●				2 接点制御－優先順位再生	レベル入力専用 (ワンショット可)
	●			3 接点制御－順次記憶再生	レベル入力-ワンショット換算
●	●			4 接点制御－記憶エンドレス(複数交互)	レベル入力-ワンショット換算
		●		5 接点制御－記憶エンドレス(優先順位)	レベル入力-ワンショット換算
●		●		6 接点制御－後入力切替	ワンショット
	●	●		7 バイナリ制御1(正論理)	PLC用 255CH
●	●	●		8 バイナリ制御2(負論理)	PLC用 255CH

●ON

■インターバルタイマー 接点制御-通常再生モード有効)

DIP SW bit で設定します。電源ON時有効になります。

各音声データ再生終了後、インターバルタイマーが作動します。

インターバルタイマー作動中は、SW1～8の信号入力は検知しません。

DIP SW								タイマー	
1	2	3	4	5	6	7	8		
								1	インターバルタイマー 0秒
			●					2	インターバルタイマー 30秒
				●				3	インターバルタイマー 60秒
			●	●				4	インターバルタイマー 120秒

■プログラムローダー

CFカードを使用して、<ユーザー>仕様の再生モード・タイマーなどのプログラムを書き換えできます。

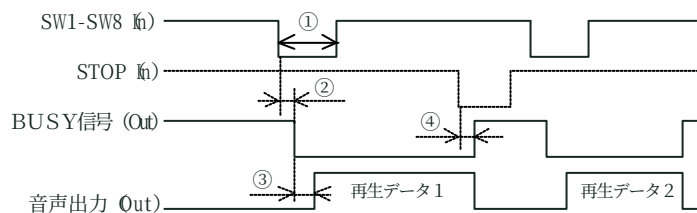
DIP SW 1								音量制御	
1	2	3	4	5	6	7	8		
								1	書き込み無効
						●		2	書き込み有効

17. 制御方法—接点制御

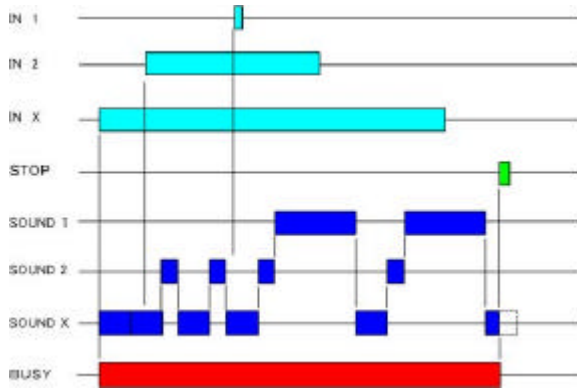
インターバルタイマーは通常再生モードのみ使用できます。

【信号のタイミング】

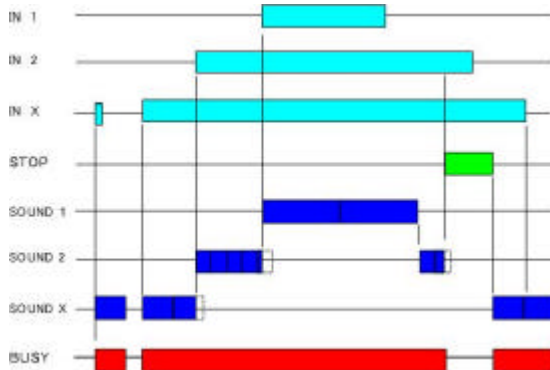
No.	信号名称	時間
①	SW入力時間	50ms min.
②	BUSY出力タイミング	50ms max.
③	音声出力タイミング	100ms max.
④	音声終了タイミング	50ms max.



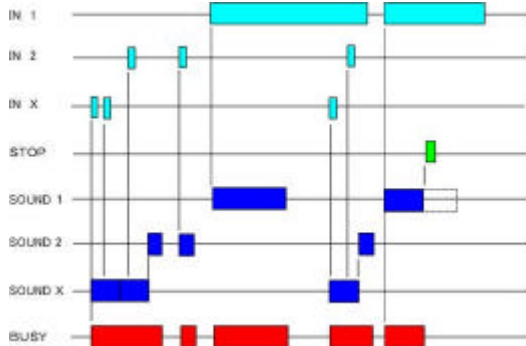
■接点制御—通常再生モード 複数交互対応)



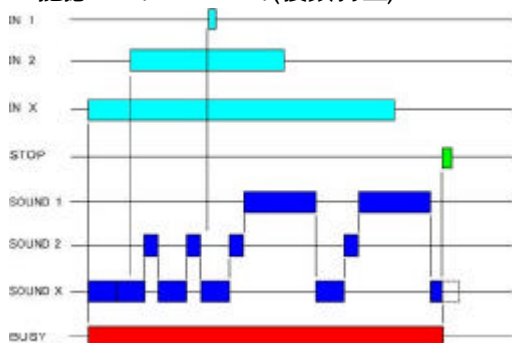
■接点制御—優先順位再生モード



■接点制御-順次記憶再生モード



■記憶エンドレスモード(複数再生)



インターバルタイマー 0/30/60/120 秒間

ワンショット入力 1 回再生 パルス幅 50msec 以上

レベル入力：リピート再生

タイマー：インターバルタイマー有効 0/30/60/120 秒間

再生中—BUSY 出力

STOP—強制終了

入力信号に該当する CH を再生をします。

再生中は入力信号を一切検知しません。再生終了後、次の CH 以降の入力を検知し、再生します。

インターバルタイマーは再生終了後、設定時間分作動します。インターバルタイマー作動中も入力信号を一切検知しません。

レベル入力：リピート再生

ワンショット入力：1回再生

再生中—BUSY 出力

STOP—強制終了

優先順位—SW1>SW2>・・・>SW X

入力信号に該当する CH を再生します。

再生途中の他の入力信号を検知した場合、優先順位に基づき再生します。

ワンショット入力 1 回再生 パルス幅 50msec 以上

レベル入力：1 回再生 (ワンショット扱い)

再生中—BUSY 出力

STOP—強制終了

メモリバッファ：20max.

入力信号を最大 20 メモリし、入力順に再生します。

設備機器の警報出力 (機器により、ワンショット・レベル混在) を受信・記憶し、該当する SW の音声データを 1 回再生出力します。

レベル入力をワンショットとして扱う。

なお、レベル入力終了し、再度そのレベル入力があった場合は上記と同様の処理を行う。(ワンショット入力 1 回)

STOP 信号入力で、再生を強制終了し、メモリバッファをクリアします。(または電源OFF)

ワンショット入力：エンドレス パルス幅 50msec 以上

レベル入力：有効 (ワンショットとして処理)

再生中—BUSY 出力

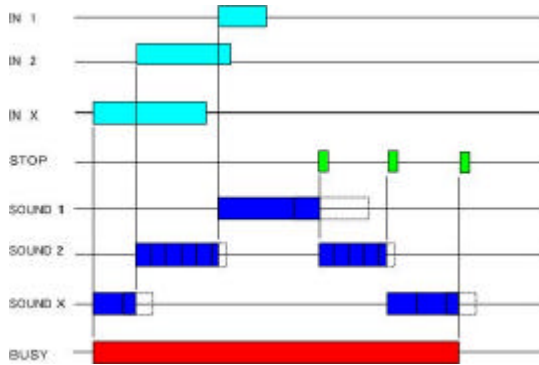
STOP—強制終了・メモリクリア

設備機器の警報出力 (機器により、ワンショット・レベル混在) を受信・記憶し、該当する SW の音声データをエンドレスリピートします。

複数受信した場合、交互に再生出力を行います。

(注)同一 SW が何回受信しても、初回記憶以降は無視する

■記憶エンドレスモード(優先順位再生)



ワンショット入力 :エンドレス パルス幅 50msec 以上
 レベル入力 :有効 (ワンショットとして処理)
 再生中—BUSY 出力
 優先順位—SW1>SW2>・・・>SW X
 STOP—強制終了 (注) メモリクリアはしない

設備機器の警報出力 機器により、ワンショット・レベル混在)を受信・記憶し、該当するSWの音声データをエンドレスリピートします。

複数受信した場合、優先順位の高いCHを再生出力します。

STOPで再生を強制終了します。

なお、後順位のSWの記憶がある場合、該当する音声データがエンドレス再生

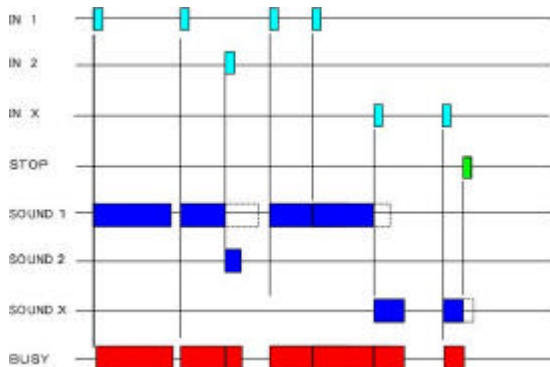
(注)

STOP 入力は最高順位 SW のメモリのみ再生終了・クリアします。

メモリを全てクリアしたい場合、何回かSTOP 入力して全てクリアするか電源OFF

同一 SW が何回受信しても、初回記憶以降は無視する。

■接点制御—後入力切替再生モード



ワンショット入力 :1回再生 パルス幅 50msec 以上
 レベル入力 : (注)取扱注意
 再生中—BUSY 出力
 STOP—強制終了

入力信号に該当するCHを再生をします。

再生途中の次入力を検知した場合、即座に該当するCHを再生します。

18. 制御方法—バイナリ制御

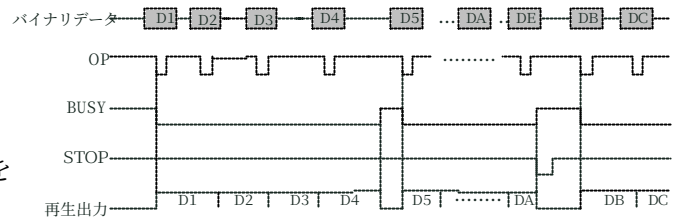
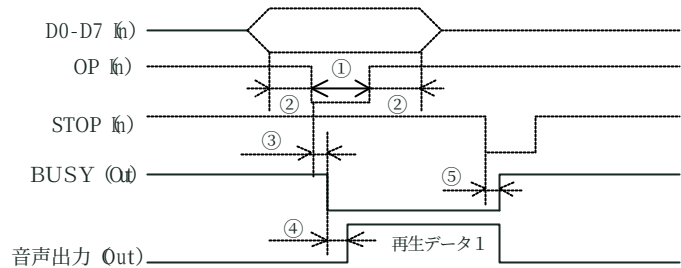
本ボードのバイナリ制御の場合、一般用と VP 系互換モードを搭載しています。入力論理が逆になりますので確認の上、DIP SW で設定してご使用下さい。

また<再生中受信>バッファにより、最大20CH まで再生中でも受信できます。

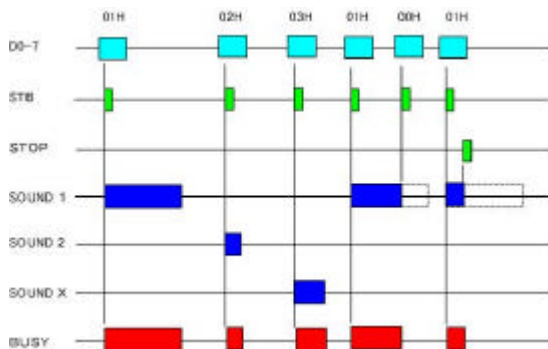
【信号のタイミング】

No.	信号名称	時間
①	STB 入力時間	50 μ s min.
②	データセットアップ時間	50ms min.
③	BUSY 出力タイミング	50ms max.
④	音声出力タイミング	450ms max.
⑤	音声終了タイミング	50ms max.

- ① 再生チャンネル 1CH~255CH
- ② <再生中受信>バッファ： 最大20個
- ③ 再生中でも受信を行います。
- ④ 再生順番は FIFO 形式とし古いデータより再生
- ⑤ 受信バッファがフルで以降のデータは無効となり、バッファに5個の空きが生じると受信可能とします。
- ③ 外部 STOP 信号入力もしくは FFh 入力にて再生を即停止し、受信バッファを全てクリアにします。



■バイナリ制御モード 正論理)



アドレス D0-7)+STB で確定した CH を再生します。

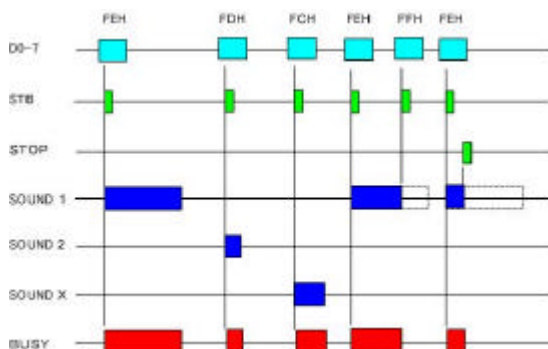
入力論理-正論理

再生中—BUSY 出力 アクティブ (“L”)

<再生中受信>バッファ :20CHmax.

アドレス	再生 CH
01H	1CH
02H	2CH
.	.
FFH	255CH
00H	STOP

■バイナリ制御モード2 負論理)



アドレス D0-7)+STB で確定した CH を再生します。

入力論理-負論理

再生中—BUSY 出力 アクティブ (“L”)

<再生中受信>バッファ :20CHmax.

アドレス	再生 CH
FEh	1CH
FDh	2CH
.	.
00h	255CH
FFh	STOP

19.音源データの登録時間とCFカード

下記のメモリカードがご使用できます。下記以外のメモリカードは動作保証外になります。

■登録時間 カード容量とWAVE ファイルのサンプリング周波数による

カード容量	通常	
	44.1KHz 16Bit	22.05KHz 16Bit
32MB	5.6 分	11.2 分
64MB	11.2 分	22.4 分
128MB	22.4 分	44.8 分
256MB	44.8 分	89.6 分

■推奨CFカード 下記カードまたは相当品

カード容量	登録時間 44.1/22.05KHz時)	バッファロー製
32MB	約 5/11 分	RCF-X32MY
64MB	約 11/22 分	RCF-X64MY
128MB	約 22/44 分	RCF-X128MY
256MB	約 44/88 分	RCF-X256MY

(注) カード本体の不良・破損について

カード本体の不良・破損に関しては、当社では保証・対応していません。カードメーカーへ返却・修理願います。

■カードフォーマット(初期化)

WAV500 シリーズが認識できるCFカードのフォーマットはFAT(別名FAT16)です。

FAT32やNTFSフォーマットのCFカードは認識できません。

CFカード状況	使用可否	対処方法
新規購入のカード	○	そのままご使用できます。
FAT32 フォーマットのカード	×	FAT(FAT16)でフォーマット
NTFS フォーマットのカード	×	FAT(FAT16)でフォーマット
デジタルカメラで使用したカード	×	FAT(FAT16)でフォーマット

(注) WindosXP Windows2000 ユーザーの場合、必ず、FAT(別名FAT16)指定でフォーマットして下さい。

■カードの脱着

必ず、電源 OFF 状態でカードの脱着を行って下さい。

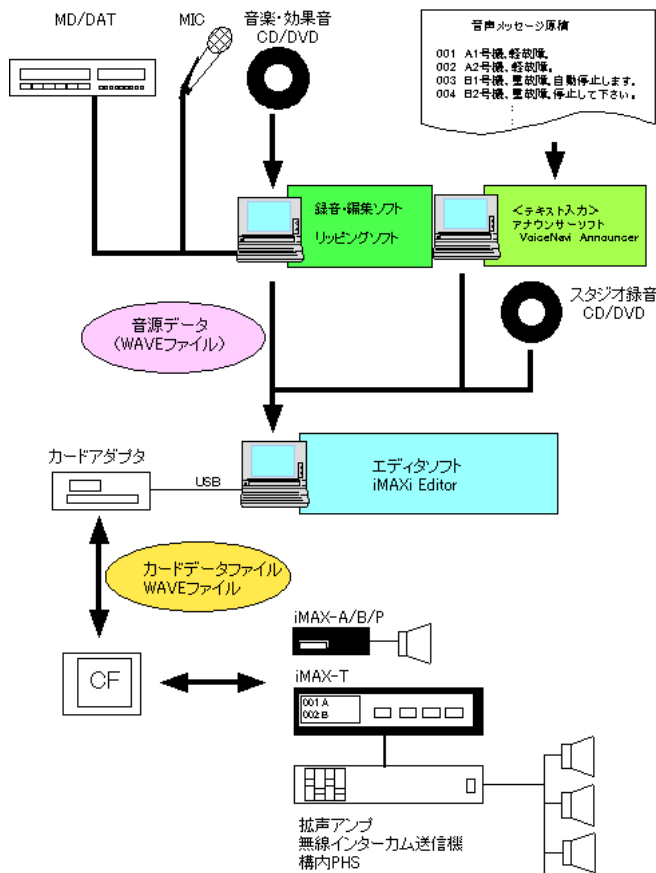
再生／録音中に行うと、カード内部が破損します。

20.適用カードデータファイルとWAVEファイル形式

下記のカードファイルとWAVEファイル形式が使用できます。

WAVE ファイル	44.1/22.05KHz 16/8Bit Mono	・ステレオデータは使用できません ・日本語、ロングネームは使用できません
カードデータファイル	.imx ファイル	エディタソフト iMAX Editor(ボイスナビエディタ)で作成したカードデータファイル 6650 シリーズのデータをコンバートして使用する場合はモードCのみ有効です。
	.wpj ファイル	WAV2000/WAV2000-AC/2500 データ互換 エディタソフト VoiceNavi Editor(ボイスナビエディタ)で作成したカードデータファイル

2.1.音源データの録音/登録・プログラム登録・カードデータ作成



[音源データ(WAVE ファイル)の用意]

パソコン上でマイク・ライン入力による録音、スタジオ録音、テキスト音声変換ソフトなどにより音源データ(WAVE ファイル)を作成・用意します。

[音源データ(WAVE ファイル)の登録]

エディタソフト iMAX Editor の WAVE ファイル登録画面で使用予定の音源データ(WAVE ファイル)を登録します。試聴できます。

[アドレス登録・プログラム登録]

エディタソフト iMAX Editor の TOP 画面 (アドレス登録・プログラム登録)で各端子毎に音源データ(WAVE ファイル)を登録します。

この際、1 端子最大4 データまでの組立再生、5 回までのリピート再生などのプログラム登録ができます。

IN No.	R	VOICE			
		1	2	3	4
001	1	a001	a002	a003	a004
002	1	b001	b002		
:	:	:	:		
068	3	z001	z002		

[カードデータ作成 CF カードへコピー]

エディタソフト iMAX Editor 上で作成日、作成者などの所定事項を入力してカードデータ作成します。

作成したカードデータを USB カードアダプタ経由で CF カードにコピーします。

iMAX-T のフロントパネルを外し、カードコネクタに CF カードをセットします。

[iMAX-T シリーズの優先順位 ABC の設定]

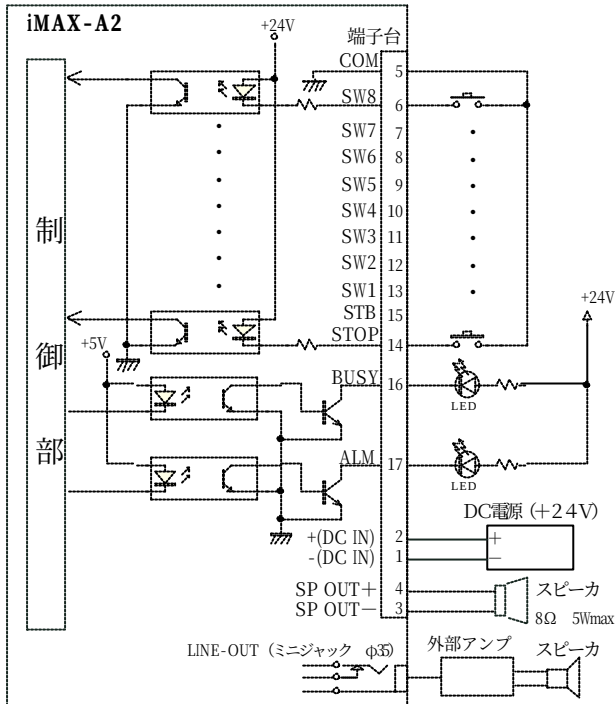
iMAX-T 本体のタッチパネル LCD 上で、入力端子毎に設定します。

2.2.音源データの接点端子・アドレス登録について

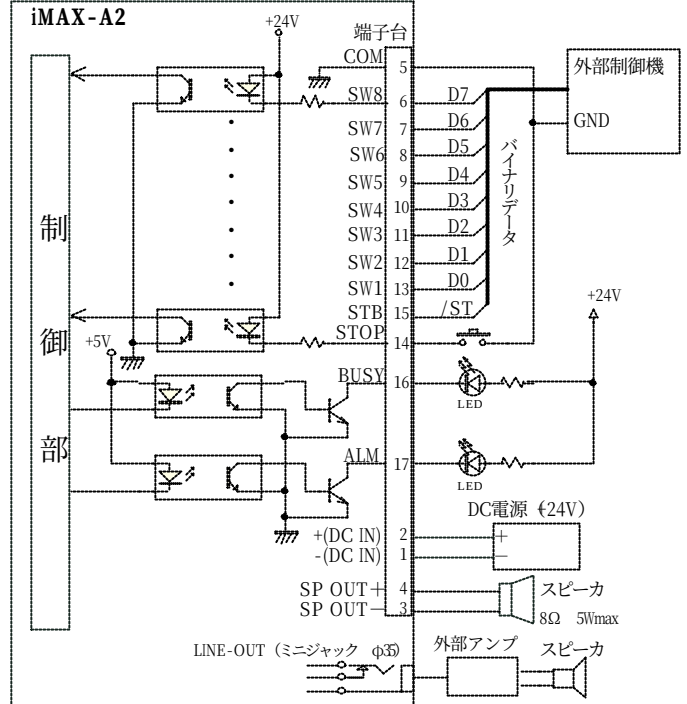
接点制御	バイナリ制御	バイナリ制御	エディタソフト iMAX Editor アドレス・プログラム画面					
ホスト側	負論理	正論理	No.	R	1	2	3	4
SW	アドレス	アドレス	1	1	A001	B002	C003	
SW1	FEh	01h	1	1	A001	B002	C003	
SW2	FDh	02h	2	1	空き			
:	:	:	:	:	:	:	:	
SW8	:	08h	8	1				
	:	09h	9	1				
	:	0Ah	010	1				
	:	0Bh	011	1				
	C8h	37h	055	1	A001			
	C7h	38h	056	1	E001	F002		
	:	:	:	:	空き			
	01h	FEh	255	1	Z001			
	FFh	FFh	制御コマンド-再生停止					

■接続参考図

●接点制御の場合

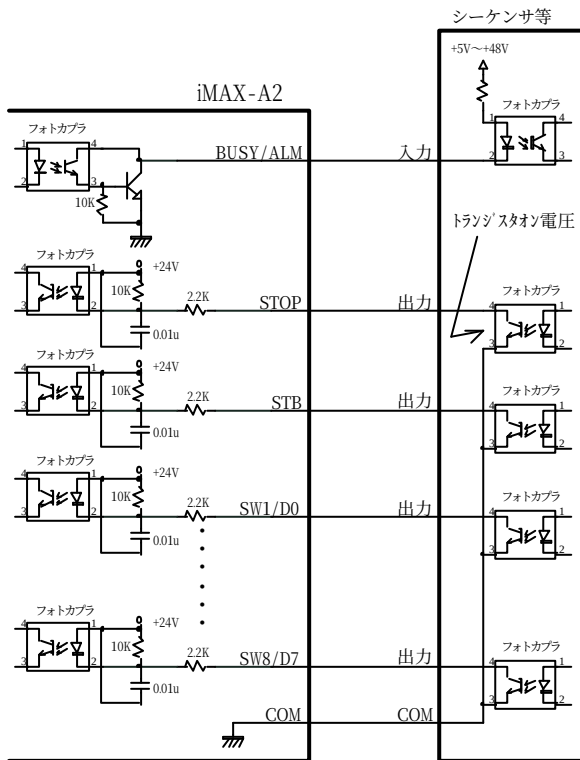


●バイナリ制御の場合



■PLC との接続の場合

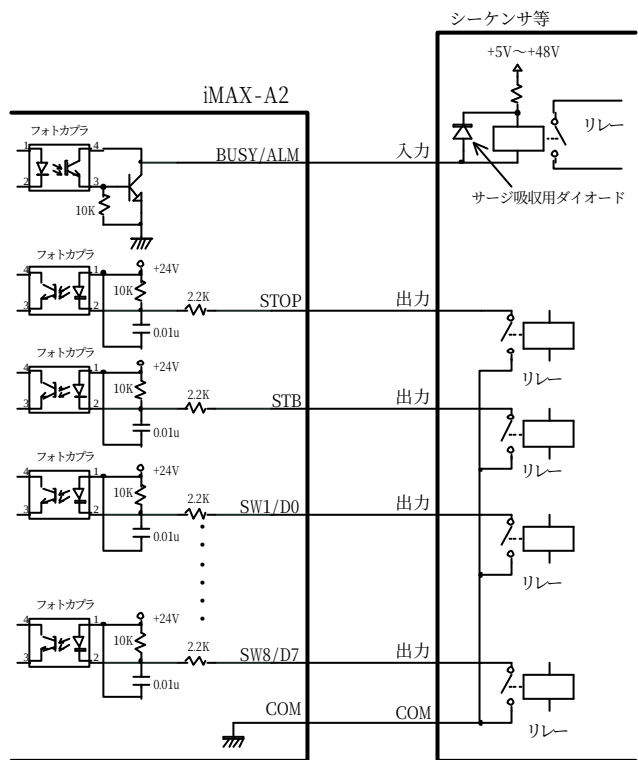
●トランジスタタイプ



(注)

トランジスタのオン電圧が0.8V 以下のものを御使用願います。

●リレータイプ



(注)

リレーのコイルをドライブする時はコイル間にサージ吸収用のダイオード（繰り返し尖頭逆電圧及び直流逆電圧は、外部のサージも考慮して余裕のあるもの、また平均整流電流はコイル電流以上のダイオード）を付加して下さい

(注)本書中記載の商品・社名は各社の商標または登録商標です。本書記載の仕様・概観は改良等により、予告なく変更になることがあります。

VoiceNavi 三共電子株式会社

〒381-3203 長野県上水内郡中条村中条 38 TEL 026-268-3950 FAX 026-268-3105

URL <http://www.voicenavi.co.jp/> E-mail info@voicenavi.co.jp